



スロベニア共和国 (Republic of Slovenia)



- スロベニアへの援助総額は2004年までに累計4.72億円。
- 1991年に旧ユーゴスラビア連邦から独立して以来、スロベニアに対しては主に技術協力を中心に支援を実施。
- スロベニアのEU加盟後は、ドナー同士として、人道・開発・人間の安全保障分野で協力。

国概要

(基礎データ)

- ・ 面積: 2万273平方キロメートル(四国とほぼ同じ)
- ・ 人口: 206万5千人(2015年10月(統計局))
- ・ 首都: リュブリャナ
- ・ 言語: スロベニア語
- ・ 宗教: カトリック57.8%, イスラム教2.4%, セルビア正教2.3%, プロテスタント0.8%
- ・ 政体: 共和制
- ・ 議会: 二院制
- ・ GDP: 385億ドル(2015年, スロベニア統計局)
- ・ 一人あたりGDP: 23,954ドル(2015年, スロベニア統計局)
- ・ 経済成長率: 2.9%(2015年, EUROSTAT)
- ・ 失業率: 9.0%(2015年, EUROSTAT)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

6世紀末	スラヴ人定住開始 アヴァール王国等異民族による支配が続く
1282年	ハブスブルグ家の所領となる 以後、1918年までハブスブルグ帝国領
1918年	セルビア人・クロアチア人・スロベニア人王国
1945年	ユーゴ構成共和国の一つとして発足
1991年6月	独立と主権を宣言
1992年1月	EU各国等が国家承認
5月	国連加盟
2004年3月	NATO加盟
5月	EU加盟

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
技術協力	4.72億円 (2004年度末時点)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からスロベニアへの輸出	約125.4億円 (2015年度, 財務省)
スロベニアから日本への輸出	約99.8億円 (2015年度, 財務省)
日本からスロベニアへの直接投資	33.5百万ユーロ (2014年, スロベニア中央銀行)
在スロベニア日系企業数	27社 (2015年, 外務省)

日本とスロベニアとのドナー間協力

近年、スロベニアとの間では、同じドナー同士として第三国支援の協力が進んでいる。

✓ スロベニアの「人間の安全保障強化のための国際信託基金」(ITF)の活動に対し、UNDPを通じて100万ドルを供与。

✓ その他、2009年以降、ITFとの間で、草の根・人間の安全保障無償を通じ、総額約172万ユーロの地雷除去支援活動をボスニア・ヘルツェゴビナとクロアチアで実施。

人的つながり

項目	人数(直近年)
スロベニアにおける在留邦人数	148人(2015年, 外務省)
在日スロベニア人数	782人(2015年, 法務省)
スロベニアから日本への留学生数	22名(2015年, JASSO)
日本からスロベニアへの観光客数	17,641人(2013年, JNTO)

日本とスロベニア共和国との協力年表

年代	案件
1992年2月	外交関係開設
1993年4月	スロベニアに対するODAを開始
1993年10月	クラチューン副首相兼経済相訪日
1995年12月	初代駐日スロベニア大使着任
1998年9月	フルレッツ外相訪日
2004年3月	スロベニアに対するODAを終了
2006年1月	在スロベニア日本大使館開設
2006年5月	初代駐スロベニア日本大使着任
2008年4月	ヤンシャ首相訪日
2008年6月	ルーペル外相訪日
2012年	外交関係樹立20周年
2013年3月	バホル大統領訪日
2014年5月	日・スロベニア首脳会談(パリ)
2016年10月	ツェラル首相訪日

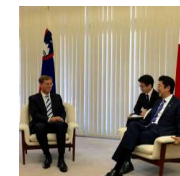
第17回日・EU定期首脳協議の開催に伴い、首相が訪日。日本はG8議長国、スロベニアはEU議長国を務め、二国間対話が活発化。



スロベニアから初の大統領訪日。13年7月、3月の首脳会談で合意された初の日・スロベニア科学技術協力協議がスロベニアで開催。



2016年、京都で日・スロベニア首脳会談を実施。



2016年、リュブリャナ市内エキシビション・コンベンション・センターにおいて、日本文化総合紹介行事「Japan Day 2016」が開催。5回目を迎える同行事では、各武道団体によるデモンストレーションや日本庭園や着物に関するレクチャー等が行われ、160名を超える来場者で賑わった。また、会場内には松の庭木や七夕飾りが設置され、各展示ブースでは、和食・日本酒の紹介、書道体験、日本語教室、浴衣試着体験、日本の昔の玩具体験、折り紙の紹介、寿司や和菓子のワークショップなどが実施された。



2013年、スロベニア柔道連盟に大使表彰を授与。スロベニア柔道連盟はスロベニアにおける柔道の普及とレベルの向上の為に多大な貢献を行ってきた。